

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（TEL52-2115）までお知らせください。

春の交通安全運動で子どもたちを守る（4月7日→15日）

春の交通安全運動の一環として、各地域で新1年生をはじめとして、児童生徒を交通事故から守ろうと、町交通安全協会各支部の役員や交通指導員の皆さんが期間中、登校が始まる毎朝7時30分頃から通学路の主要交差点に立ち、街頭指導を行いました。

また、幾寅では4月9日に「交通事故死ゼロを目指す日」の運動として、交通安全協会の役員や交通指導員の皆さんが早朝役場前の国道沿いに立ち、旗の波作戦を展開し通過するドライバーに安全運転を呼びかけました。



幾寅小学校

そっくりな似顔絵ありがとう

町内新入学児童21名（町内4小学校）全員に、幾寅郵便局小林裕幸局長が、自ら毛筆で児童一人ひとりに「おめでとう みんななかよし」と書き添えた似顔絵を贈られました。

記念になる思わぬ贈り物に、子どもたちもにっこり。みんな仲良く、楽しい学校生活が始まりました。

新入学児童の交通安全を祈って（3月26日）

富良野ライオンズクラブ南富良野支部の皆さんが教育委員会を訪れ、新入学児童の交通安全を祈って「交通安全全帽」が贈呈されました。

さつそく新1年生に配布され、黄色い帽子をかぶって元気に登校しています。

また、町商工会女性部からは「愛の鈴」、幾寅婦人会からは「交通安全マスコット」がそれぞれ贈られました。

鯉泳ぐ下金山小学校（4月20日）

平成17年から毎年行っている鯉のぼりがグラウンドの上を優雅に泳ぎはじめました。地域の皆さんも楽しみにしている春を告げる鯉のぼり。この日は気温5度とあいにくの天候でしたが、1年ぶりの再会に子どもたちは元気いっぱい。全児童8名と先生方が力を合わせ33匹の取り付けを行いました。暮地本校長は、「地域の方々などから寄贈の協力をいただき、これまで続けてこれました。この鯉のぼりのように子どもたちも元気に大きく成長してほしい」と話をしてくれました。



シリーズ学校だより⑧

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野高等学校▶▶



平成21年度ホームヘルパー2級養成研修終了

ホームヘルパー3級養成研修の廃止に伴い、平成21年度より本校を主会場として通信課程で実施することとした「ホームヘルパー2級」の養成研修の修了式が平成22年1月25日に行われました。

平成21年度の受講者は、本校生徒12名の他、町内の方5名も参加され、合計17名でした。

10月からの通信添削指導の後、長期休業期間を利用して実技スクーリングや施設実習が行われ、全員が無事、資格を取得することができました。

平成22年度入学式挙行が4月8日、今年度の入学式が行われ、11名の新入生を迎えました。

式では校長から、「自分の可能性を信じて最大限の努力をしよう、自らを律する心を持つと、自己理解に努めよう」との話がありました。

また、入学生を代表して、坂口恒大くんが「南富良野高校33期生（全日制課程）として、誇りを持ち、本校生としての本分を尽くします」と力強く宣誓しました。

新入生たちには、今までの南富良野高校の良い伝統を受け継ぎ、全国大会への出場や国際交流で見聞を広めるなどを期待しています。



町へ災害備蓄用パンを寄贈（4月9日）

社会福祉法人南富良野大乘会 竹澤喜一郎理事長をはじめ、大乘会の関係者が役場を訪れ、災害備蓄用パン1,200缶が贈呈されました。寄贈いただいたパンは、南富良野大乘会で運営し、施設利用者が働いている「なんぷ〜香房森のパン屋」で製造しているものです。5年間の保存がきき、火や水を必要としないもので、町では万が一の災害に備え活用させていただきます。



新たな学びを誓う（4月8日）

開校から21年目を向かえた千里大学の入学式が行われ、本科第11期生となる新入生6人を迎え、総勢51人（本科生16名、大学院生16名、専修科生19名）の新たな学びがスタートしました。

式では町民憲章朗読や校歌などが斉唱され、厳粛で心地よい緊張感の中で、池部学長（町長）より入学許可を受けたあと、新入学生を代表し、五日市利智子さんより「楽しい学生生活を送ることを目指し、向学心と熱意を持って学習します。」と誓いを述べられました。

毎月2回（第2・4木曜日を基本）登校し、学びを深めます。

